



題字 小川 東州

社団法人日本産業カウンセラー協会北海道支部

〒060-0807 札幌市北区北7条西5丁目6-1 ストックマンション札幌308号  
TEL&FAX 011-736-2333 ホームページ <http://www.do-counselor.jp>

## 第二回北海道支部通常総会が 開催されました

6月25日(土)札幌総合卸センター共同会館において、本部より近藤常務理事をお迎えし、「第二回日本産業カウンセラー協会北海道支部通常総会」が開催されました。

開催にあたり、進行役の佐藤広報部長から定足数の確認が行なわれ、平成17年3月末の登録会員数246名のうち、総会出席者(会員本人)31名、委任状提出者100名の合計131名が出席となり、支部規定第15条に基づき、正会員数の過半数(123名)を超える出席が確認されたことにより、総会が有効に成立していることが報告され、総会へと進みました。

はじめに桑原支部長より「会員の皆様には支部の運営にあたり、ご理解とご協力をいただいているところであり、心からの感謝を申し上げます。支部発足2年目を迎えましたが、社会情勢は大きく変動している最中であり、産業も雇用も厳しい環境におかれています。このような中で、協会本部、そして支部に寄せられる期待や要請も、組織の認知の広がりとともに日ごとに増してきています。私たちは、このような社会のニーズに真に役立つ心の専門家として、真に役立つ支部としてどう関わっていくかを会員の皆様とともに考え、意見・要望なども伺いながら運営に努めていきたいと考えています。」との挨拶があり、続いて、近藤啓二常務理事より「協会全体の課題解決については、各支部の取り組みに負うところが大きいので、出来るだけ大勢の方に参画していただきたい。」「北海道での全国大会では、多くの方々が役割を担ってくれた。日常の支部活動も持てる時間、関われる範囲で社会活動の一環として担っていただきたい。」



冒頭であいさつの桑原支部長



近藤協会本部常務理事



熱心に参加された会員の皆様

「オープンイズベスト！出来るだけ情報をオープンにするので、判らないことは説明を求めていただきたい。」「北海道支部も開かれた支部として大きく発展していただきたいし、また、大きな可能性を持った支部であると思う。」と励ましのご挨拶をいただきました。

次に、支部規定に基づき議長に桑原支部長が就任し、議事録署名人として、泉澤裕子さん並びに杉沢千代子さんが指名され、議事へと進みました。

平成16年度事業報告及び収支決算報告は、5月28日に横浜市で開催された本部通常総会ですすでに承認済みの内容について、十川事業推進部長から説明が行われました。

また、第一号議案「平成17年度事業計画及び収支予算の決定」についても、十川事業推進部長より説明がありましたが、会員からは「会の急速な発展の中で良くやっていると思う。支部活動は『すずらん』で情報を得ているが、困っていることがあれば示して欲しい。」というご意見をいただくとともに、「会員並びに養成講座受講者も増えた中で、会員自らの満足感や協会全体の発展をどう図るのか。」という質問があり、これに対し、近藤常務理事より、「増やしたくてというよりは増えているというのが現状。養成講座の受講希望者も多いので、身近なところで学ぶ機会を増やすなど、社会のニーズに応えるとともに、実技指導者の教育研修の充実に取り組んでいる状況にある。」旨の応答がありました。

さらに、支部の現状についての質問があり、吉田養成講座部長より、養成講座の実施状況及び実技指導者の養成状況について説明が行なわれました。

そのほか、「支部活動に協力したい会員もいるので、情報提供を工夫してほしい。」という要望が出され、今後の検討課題とすることとし、第一号議案は満場拍手にて承認となりました。

第二号議案「平成17・18年度役員選任」についても、規定に基づき、桑原支部長より運営幹部8名並びに運営協議員12名、監事2名の報告があり、満場の拍手で承認されました。

このあと引き続き、退任役員を代表して岡下前旭川事務所長より「支部長を中心に若い会員が支部活動に集結し、支部の益々の発展と、地域のニーズに応える産業カウンセラーになって欲しい。」とのご挨拶をいただき、予定していたすべてのプログラムが終了し、平成17年度北海道支部通常総会を閉会しました。

この後、近藤常務理事より「シニアコース講座」（詳細は協会会報6月号）の概要についてご教示をいただいたほか、大嶋前会員研修部長から支部の会員ロードマップについての説明が行なわれ、参加者はメモをとったり質疑を行うなど、活発なやりとりで終始しました。

また、会場において、今後の支部運営や活動の参考にさせていただくためのアンケートを実施いたしました。回答は任意で無記名式とし、配布数31枚に対し、回答22枚、回収率は71%となりました。ご協力頂きました会員の皆様ありがとうございました。また、詳細につきましては、次号の「すずらん」でお知らせしたいと考えております。



岡下前旭川事務所長

# 運営協議会名簿及び新任ご挨拶

## ◎運営幹部

- ・ 桑原富美恵（支部長 **再**）
- ・ 川岸利枝子（広報部長 **新**）
- ・ 永井 義信（事業推進部長 **新**）
- ・ 二俣 美幸（会員研修部長補佐 **新**）
- ・ 佐藤 篤輝（副支部長兼総務部長 **再**）
- ・ 吉田志津子（養成講座部長 **再**）
- ・ 十川 秀逸（会員研修部長兼総務副部長 **再**）
- ・ 山村 弘美（相談事業部長 **新**）

## ◎運営協議員

- ・ 青木 明美 **新**
- ・ 赤川 素子 **新**
- ・ 井澤 敦子 **再**
- ・ 内山貴美子 **新**
- ・ 大畑 薫 **再**
- ・ 佐久間千雅 **新**
- ・ 佐藤 直美 **新**
- ・ 柴田 孝 **新**
- ・ 清水 秀明 **再**
- ・ 清水 良子 **新**
- ・ 鈴木 啓路 **新**
- ・ 對馬眞智子 **再**

## ◎監 事

- ・ 大嶋 弘道 **新**
- ・ 高田 明子 **新**

## 新しい運営幹部からのメッセージです！

.....相談事業部長 山 村 弘 美

相談部を担当することになりました。いま、カウンセリングの現場で本当に援助できる産業カウンセラーが求められています。

私たちは養成講座において、治療的に関わるというよりも、予防的に、あるいは主体性を育てるカウンセリングが、産業カウンセラーの領域であると学んできました。

しかし、現場では治療的と予防的の境目があいまいで、それだけに「見立てる力」が必要です。また、その見立てに大きなズレを起こさないためには、しっかり、クライアントのあり方を受け止めながら、心の動きについて行く聴き方（傾聴）が必要ですが、共感的に聴くことは、何と難しいことでしょう。学べば学ぶほど痛切に感じます。

ある後進が「クライアントの迷惑になるから勉強しないといけない。」と語ってくれました。私はその謙虚さに触れ、「常に基本に立ち返る」ことこそ大切であると改めて確信しました。

これからの2年間は、謙虚に学びあい、「援助ができる、面接ができるプロ」を胸を張って派遣できる相談部を目指して、地道に活動したいと思っています。

つきましては、会員の皆さまの知恵と時間と労力をお貸しください。よろしく願いいたします。

.....事業推進部長 永 井 義 信

今回の運営協議委員の改選で恐れ多くも、十川さんの後に、14年度生の私が事業推進部をお手伝いさせていただくことになりました。皆様方の絶大なるご指導ご協力を心よりお願い申し上げます。

昨年より、支部の運営協議委員として1年間会議等に参加させて頂いており、何となく概要は理解し始めておりましたが、具体的なことはまだよく解っていないと言うのが実感です。

その中で、先日支部長より、ミッションを受けましたが、ただ、「お受けする以上は、出来る限りのお手伝いをさせていただきます。」とお答えするのが精一杯の返事でした。

そもそも、産業カウンセラーの養成講座を受講しようとした唯一のきっかけは、小さな新聞記事でした。受講を始めた頃は北見に単身赴任中で、飛行機、汽車、バス、夜行列車等を使い、全18回出席させ



ていただきました。今から思うと、あの、熱意と情熱は何だったのだろうかと思議な気がします。

今回、運営幹部に背中を押していただいたことに感謝し、初心を忘れず、北海道支部の発展のため、微力ながら全力で、任期中、悔いの残らない活動をさせていただきたいと思っております。よろしくお願ひいたします。

.....広報部長 川 岸 利枝子

広報を担当させていただきます川岸と申します。よろしくお願ひいたします。

2000年7月に発行された、札幌分会の会報「すずらん」第1号から5年間、読み親しんで参りましたが、今回改めて読み返してみると、北海道支部の発展と共にそこに自分を感じ取ることが出来ました。

この愛着のある会報の仕事に携わることができ大変うれしく思っています。

今回の総会で、会員の皆様には、「支部活動に参加したい」「自己研鑽につとめたい」というお気持ちを持強くとともに、どうすればよいのかという戸惑いも感じました。

少しでも、広報（会報・HP等）がその掛け橋になり、会員参加型の支部運営に役立つよう努めていこうと思っています。

主な役割として、①会員に役立つ情報提供②支部運営に関し、透明度の高い情報開示③会員相互の意見交換や交流の場の提供を考えていますが、具体的には、新しい広報委員の皆さんと積極的に話し合いを重ね、会員の方のご意見等をいただきながら進めてまいります。

どうぞ、今後ともよろしくお願ひいたします。

.....会員研修部長補佐 二 俣 美 幸

昨年北海道支部が設立し、運営協議員として支部運営に関わらせていただけてから、あっという間に1年が経ちました。その間、新しい組織を軌道に乗せるべく励んでいる役員の方々の姿を目の当たりにし、「外側からは見えない苦勞をされているんだ」と感じ、色々と考えさせられる1年もありました。他の支部に比べ北海道はとにかく広く、時間や距離に阻まれ「研修になかなか参加できない」「支部運営がどうなっているのかよくわからない」など、不安を抱えた会員も少なくないと改めて感じました。

今年度から運営幹部として、地方に住んでいる自分に何ができるのか模索中ですが、会員の皆さんがどこに住んでいても「積極的に学ぼう」という気持ちを持ち続けられる事、それをサポートできる組織作りに関わっていきたい...と考えております。

また部会では会員研修部を担当することになりました。養成講座終了後、また産業カウンセラー資格取得後に会員の皆さんがスキルアップを目指し、研鑽を積んでいく研修のお手伝いができればと考えております。どうぞよろしくお願ひいたします。

## 支部幹部会・運営協議会開催のようす

### ◎第2回幹部会（5月21日）

#### 主な討議事項

- ・平成17年度支部通常総会について
- ・運営協議会開催について

### ◎第3回幹部会（6月18日）

#### 主な討議事項

- ・平成17年度支部通常総会について
- ・運営協議会協議事項及び提出資料の確認について

### ◎第1回運営協議会（6月18日）

#### 主な討議事項

- ・平成17年度支部通常総会について
- ・平成17年度支部方針の確認について
- ・地域活動について

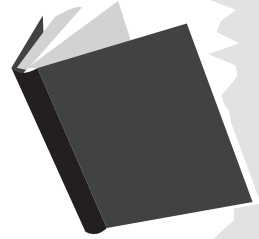


支部の活動についてのご意見・ご要望を、郵送・メール等で事務局までお寄せ下さい。お待ちしております！



『役立ちの1冊』

## 関連BOOKの紹介



### 「気づきノート もどっておいで私の元気！」

著書：岡部 明美

発行：善文社 定価：1,529円（税込み）

著者は、マーケティングプロデューサーとして調査分析の分野で活躍していたさなか、突然襲った大病で一命をとりとめた後、ホリスティック医学に出会い、心と体の関係を学ぶ中でそれまでの人生を見つめなおし、自分に向き合う「癒しの旅へ出発」します。

人との出会い、かかわり、つながりの中で得た多くの「気づき」の言葉は著者自身のものであり、どれも心に清しく響き、心の奥に沁み込む珠玉のようです。自然を愛す写真家による温かい心のぬくもりを感じる写真にもほっとさせられます。

およそ10年前、心理学書でもカウンセリングのハウツーものでもないこの本に出会い、「癒す」とはどういうことなのか、「魂をそっと抱きしめる」とはどういうことなのかを教えてもらった1冊です。そして今も、心のよりどころのひとつとなっている大切な本です。

リラックス  
タイムコラム  
①

## 芳醇な「待ち時間」を味わう



扉を開けると、珈琲の香気にふわりと包まれる。札幌市西区山の手通り沿いに位置する珈琲工房Beansは、味覚・嗅覚・聴覚・視覚を一瞬のうちに満たしてくれる素敵なお店だ。

Beansを訪れる楽しみは、美味しい珈琲豆を手に入れることにあるのは勿論だが、なんといっても薫り高き「待ち時間」を味わうことにある。このお店では、常時30種類以上ある産地直輸入の生豆を、オーダーに合わせてその場で焙煎してくれる。芳ばしい香りに包まれ待つこと15分余、豆の話から始まり家族のこと、近所のスーパーのお得情報に至るまで、普段着の会話を店のご主人や奥さんと交わしながら、焼きたて挽きたての一杯をしっかりと馳走になって過ごす。ジャズが流れる店内は、床には樽がズラリと並び、特注ローサーが設置されたレンガの壁は焙煎の熱で程よく焼けていて、雰囲気もなかなかのもの。だけど、サンダル履きで気軽に立ち寄れる好い加減さもあって、それがまた嬉しい。

待ち時間も味わいながらお気に入りが入りが手に入る『珈琲豆専門店Beans』、違いが分かる人も分からない人も、ぜひ一度どうぞ。おすすめです。

珈琲工房Beans 営業時間AM10:00～PM7:00 定休日 水曜  
札幌市西区西野3条5丁目1-37（山の手通り、西警察署斜め向かい）  
TEL 011-666-0225

# 各部からのお知らせ

## 総務部

総務部は事務局と相まって、支部事業の円滑な運営、会員の活動支援をいかに進めるかが与えられた責務であると思います。この責務を果たすためには、事務局を含む運営体制の強化や本部方針に基づく事業の具体的な取組みの企画、会員が希望する活動に参加できるスキルの習得、維持、向上等の育成事業への支援等、会

員参加型の事業展開が図られるように支援することが必要と思います。支部化2年目ということで、このほかにも支部の規約・規定の見直しも必要と感じており、多くの課題を抱えておりますが、会員皆様方のご理解とご協力をいただきながら、一つ一つの課題克服に取り組みたいと考えています。

## 養成講座部

講座は6月末で通算7日間、講義27時間、面接実習20時間、ホームワーク16時間が終了しました。この時期は、受講者の気持ちがさまざまに揺れ動く時期でもあります。「カウンセラーって?」、「養成講座って?」、「自分はカウンセラーに向いている?」などなど。受講動機が人それぞれで、いろいろとある分だけ揺れ動く気持ちもいろいろです。その中で受講者に不安や時には不満を感じさせるのは、「正解がない」ことだと思います。

カウンセラーはクライアントの自己成長のお手伝いをする。でも、人にはいろいろな考えや思いがあるので、その人にとっての成長への道は

「一本だけではない」、「他人が考えている正解だけではない」こと。人はどんなに正しいことを勧められても、「自分で考え・理解したことは行動に移せる」ということから、「答えはクライアントその人が持っている」ということを、講義や面接実習、ホームワークを通して学び・体験し・実感として理解してもらおうのですが……。

このような中で、受講者の揺れ動く気持ちを支えてくれるのが、同じグループの仲間の「受講者」であることも、この時期の大きな特徴だと思います。

支援者である私達にとってもこの時期は、気を引き締めなおす時期となります。

## 広報部

支部化とともにリニューアルしての広報発刊も、おかげさまで今号で7回を数えました。

これまででも小さな工夫をしつつ、会員の皆様に少しでも喜ばれる広報誌づくりに心がけて参りましたが、まだまだ、内容の充実を図らなければなりません。開かれた支部であるためには、広報に会員皆様の声を反映させることも必要です。そのためにも、掲載する記事が必要となりますので、少しの時間を割いて、ご意見・ご要望、最近の出来事や感じたこと、考えさせられ

たことなどをお寄せいただきたいと思います。

また、ホームページのアドレスも第一面の題字の右下欄に記載してありますのでご利用をお願いします。

なお、掲示板への投稿に必要なパスワード等につきましては、別紙でお知らせしますが、会員限定の掲示板となりますので、会員以外の方にはお知らせにならないよう、御配慮をお願いいたします。

## 《各部員募集案内》

各部の部員を募集します。この機会に支部の活動にぜひ参加して頂きたいと思います。詳細につきましては、同封の別紙をご覧ください。

多くの会員の皆様のご応募を、首を長く〜くしてお待ちしております!

# 旭川レポート

## 『青い涙』

中 家 一 子

過日、「田岡由伎氏の講演」と「新垣勉氏の語りとコンサート」を拝聴するまたとない機会を得た。

広い会場は聴衆で埋めつくされ、少し遅めに到着した私は、にわかにステージ前に設けられた特等席で、お二人の息づかいまでもを感じる幸運に浴することができた。

山口組三代目の長女という特殊な環境に生まれ自分捜しの末カウンセラーとなられた田岡氏。

黒のスーツに襟元のスカーフが若々しさを一層ひきたてる。卑近な例・細やかな心の揺れを随所に折り込んだ歯切れのよい明快な語り口は聴衆をひきつけ、予定の1時間はあっという間に終わっていた。

「人間が悩み苦しむことは三つ。それは、“人間関係・お金・病”ですよ。」

の言葉が彼女の爽やかな笑顔とともに今も耳に新しい。

一転、白のスーツに身を包んで登場された新垣氏は開口一番『さとうきび畑』を熱唱。その深みのあるテノールは会場を覆い、今にも沖縄の青い海の向こうから軍靴の音が近づいてくるようなそんな錯覚に一瞬とらわれた。

逆境につぐ逆境、その境遇を生み出したまわりの人々…。しかし、その境遇を受入れ、まわりの人々を許すことで自分の生きる道を見いだした新垣氏。ご自身の今までを軽い洒落を織り交ぜながら明るく語る新垣氏に会場から嘆息と笑いと拍手がおこり、これまたまたたく間の1時間だった。

「この涙に、ありがとうを言える日がきつとくる」

事前にいただいたパンフレットの小さな文字と「青い涙」。この「青い涙」がもつ「哀しみと勁さ、残酷さと温かさ」、そして、「未来と可能性——」。いくつもの涙が心の中で絡みあう。

会場を後にすると、街路樹もまぶしい春まっ盛り。と、私の中で「青い涙」がくるくるとまわりほどけて翔んだ。





# 行事等のお知らせ

## 支部主催

### 1 キャリア・コンサルタントフォロー講座

日時 ①8月20日(土) 13:30～16:30  
場所 札幌総合卸センター共同会館202号室  
札幌市東区北6条東3丁目  
講師 桐村晋次法政大学教授  
定員 50名  
申込締切 定員に達するまで順次受付  
受講費用 会員 4,000円  
非会員 8,000円

### 2 カウンセリング実践講座

日時 8月22日(月) 18:30～20:30  
場所 かでる2・7 1050号室  
札幌市中央区北2条西7丁目  
講師 清水信介北星学園大学教授  
定員 50名  
申込締切 定員に達するまで順次受付(会員のみ)  
受講費用 会員 1,000円

### 3 職場のメンタルヘルス(H17 新設講座)

日時 8月27日(土) 10:00～12:00  
場所 かでる2・7 940号室  
札幌市中央区北2条西7丁目  
講師 大西守(社)日本精神保健福祉連盟理事  
定員 45名  
申込締切 定員に達するまで順次受付  
受講費用 会員 3,000円  
非会員 6,000円

### 4 実践論理療法入門(H17 新設講座)

日時 9月22日(木) 18:30～20:30  
場所 かでる2・7 1030号室  
札幌市中央区北2条西7丁目  
講師 菅沼憲治茨城大学大学院教授  
定員 60名  
申込締切 定員に達するまで順次受付  
受講費用 会員 3,000円  
非会員 6,000円

### 5 認知行動療法入門 (シニアコース講座認定申請中)

日時 10月5日(水)・12日(水)・11月2日(水)  
18:30～20:30

場所 かでる2・7 1040号室  
札幌市中央区北2条西7丁目  
講師 坂野雄二北海道医療大学教授  
定員 60名  
申込締切 定員に達するまで順次受付  
受講費用 会員 9,000円  
(3日一括) 非会員 18,000円

## 本部主催

### 1 キャリア・コンサルタント試験

日時 学科試験 8月6日(土)  
実技試験 8月7日(日)  
場所 学科試験 札幌・仙台・東京・名古屋・大  
阪・岡山・松山・福岡・沖縄  
実技試験 東京・大阪

### 2 精神医学概論(シニアコース講座)

日時 8月28日(日) 9:00～17:00  
場所 かでる2・7 730号室  
札幌市中央区北2条西7丁目  
講師 大西守(社)日本精神保健福祉連盟理事  
定員 50名  
申込締切 定員に達するまで順次受付  
受講費用 会員13,000円

### 3 論理療法(シニアコース講座)

日時 9月23日(金) 9:00～17:00  
場所 かでる2・7 1030号室  
札幌市中央区北2条西7丁目  
講師 菅沼憲治茨城大学大学院教授  
定員 50名  
申込締切 8月25日(木)  
受講費用 会員 13,000円

## 編集後記

第二回支部通常総会において退任された運営協議員の皆様、何かと大変な時期でのご尽力お疲れ様でした。今後は、新運営協議員が新しい風を吹き込んでくれることと期待しております。なお、小生の稚拙な編集後記も今号までですが、引き続き「すずらん」へのご協力とご愛読をお願い申し上げます。皆様、ありがとうございました。(OGG)